



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザは少しずつ減ってきています●

インフルエンザが4週連続警報レベルを超えています。3週をピークに報告数は減ってきています。全国的にA型インフルエンザが2種類同時に流行しています。また、B型も少し報告があります。同じシーズンにA型の種類違いで2回、B型1回、と3回感染する可能性もあります。引き続き感染予防に努めましょう。

◆咳エチケットをしましょう

咳やくしゃみをする時、口から、細かいしぶき（飛沫：ひまつ）が2m～3m飛ぶと言われています。しぶきには、インフルエンザウイルスなどの病原体が含まれている可能性があり、感染症がひろがる原因になるかもしれません。そこで必要なのが「咳エチケット」です。特に症状がある人が咳エチケットをすることが重要です。また、こまめに手を洗うことでも病原体がひろがらないようにすることができます。原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。感染をひろげないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

◆学校、幼稚園、社会福祉施設関係者の皆様へ

- ① 日頃から、幼児、児童生徒、入所者の発熱等の健康観察を行い、有症状者に対しては、早期受診を勧めましょう。
- ② 施設内にウイルスを持ち込まないよう対策をとりましょう。
 - ・教職員・施設職員は、日頃から自身の健康管理に努め、自身が感染源にならないようにしましょう。
 - ・施設においては、面会者についてインフルエンザ様症状の有無をチェックするなど注意喚起をしましょう。
- ③ 普段から こまめな手洗い、手指消毒、咳エチケットを心がけ、人が頻繁に触る部分はこまめに拭くなど、施設内の衛生管理を徹底しましょう。

◎実践して欲しい咳エチケット

- 咳やくしゃみがでる時には
 - マスクを着用する。（口・鼻を覆う）
 - ティッシュで口・鼻を覆う。
 - 袖（内側）で口・鼻を覆う。
- ※手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。
- ×何もせずに咳やくしゃみをすることは控えましょう。



期 間		2019年 4週		2019年 5週	
		1/21～1/27		1/28～2/3 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		1141	45.64	639	25.56
RSウイルス感染症		2	0.13	7	0.44
咽頭結膜熱(プール熱)		3	0.19	8	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		31	1.94	38	2.38
感染性胃腸炎		70	4.38	72	4.50
水痘(みずぼうそう)		7	0.44	6	0.38
手足口病		2	0.13	5	0.31
伝染性紅斑(りんご病)		4	0.25	5	0.31
突発性発しん		10	0.63	12	0.75
ヘルパンギーナ		1	0.06	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		2	0.13	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		13	2.60	14	2.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1	0.20	1	0.20